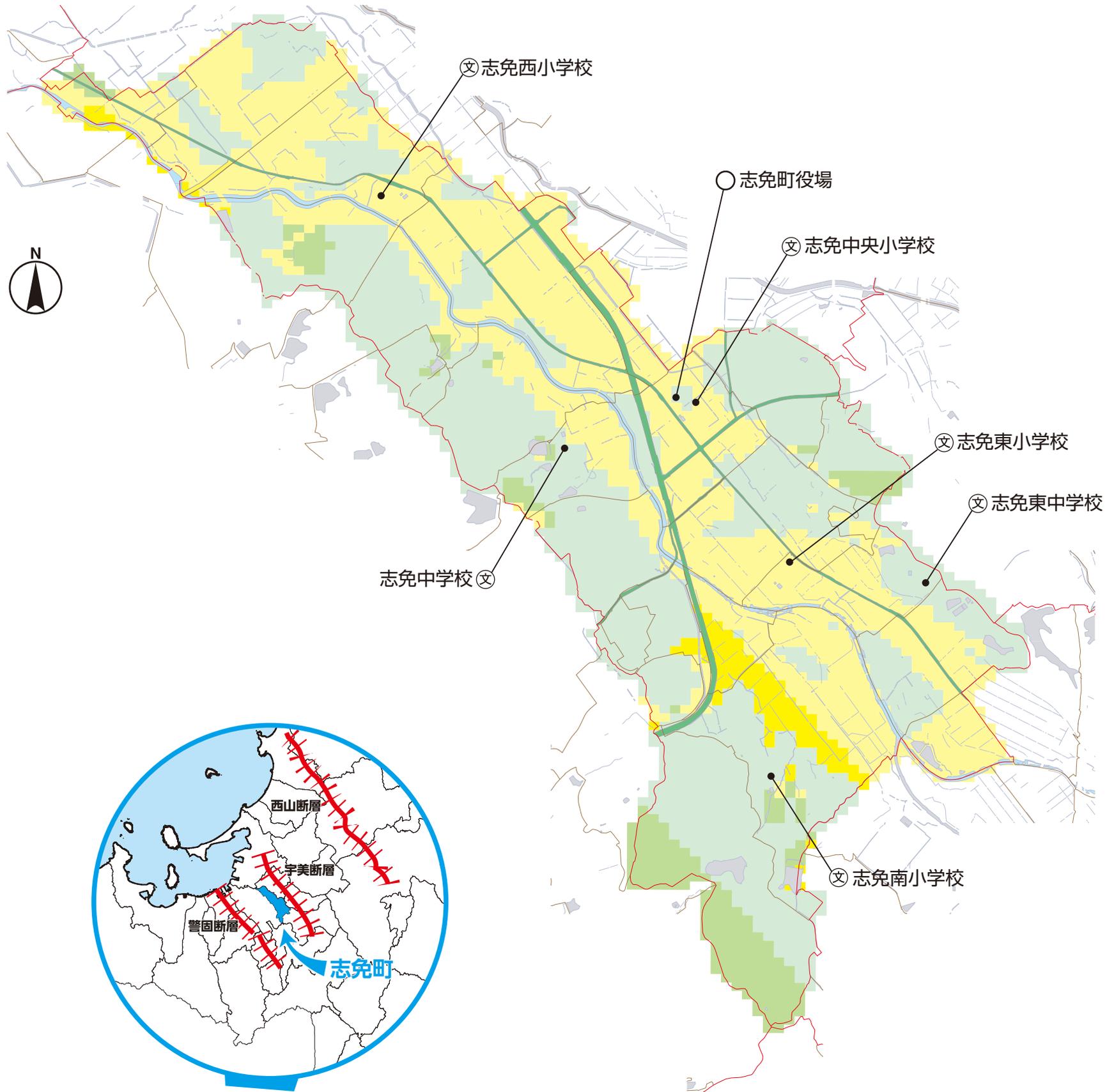


地震揺れやすさマップ

【警固断層】 想定した地震

- 地震の規模 マグニチュード7.2
- 地震発生確率（今後30年以内）0.3～6%



資料：福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書（平成24年3月発行）

凡例	計測震度	震度階級	状況
	5.5～5.9	6弱	耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒壊するものがある。
	6.0	6強	
	6.1		
	6.2		
	6.3		
	6.4～		耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。

※計測震度とは…観測点における揺れの強さを数値化したもの。
 ※震度階級とは…計測震度から換算されるもの。地震情報などにより発表される際に使用されます。
 （気象庁ホームページより）

※震度階級表示…揺れやすさを住民になじみのある震度階級で表示することを基本としていますが、震度6強については同じ震度階級の中でも、建物被害の様相にかなり幅があるため、震度6強をいくつかの段階に分けて、その違いが分かるように工夫しています。

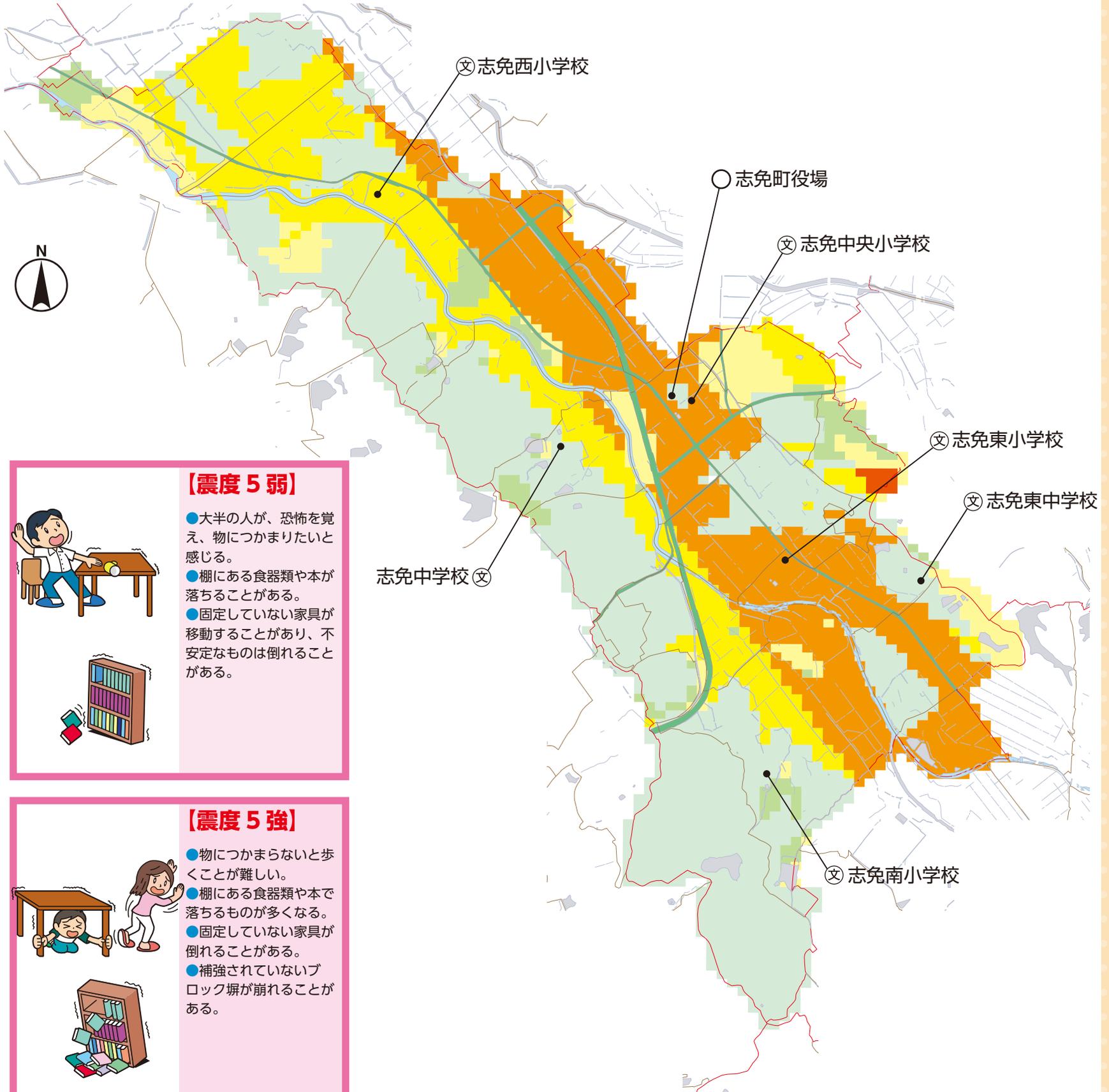
（地震防災マップ作成のすすめ（内閣府 平成17年3月）より）

【揺れやすさマップとは】

この揺れやすさマップは、志免町に大きな被害をおよぼすと言われている警固断層帯南東部及び宇美断層を震源とする地震が発生した場合の震度分布図です。あなたのお住いの地域が、どれくらいの揺れの強さになるのかを確認してみましょう。
 ※この地図に示している揺れの強さは、仮定した震源や地震規模に基づくものであるため、地震の発生仕方（位置や規模）によって、揺れの強さはこれより強くなったり弱くなったりすることがあります。

【宇美断層】 想定した地震

- 地震の規模 マグニチュード 6.9
- 地震発生確率（今後 30 年以内） 不明



【震度 5 弱】



- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

【震度 5 強】



- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本が落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

【震度 6 弱】



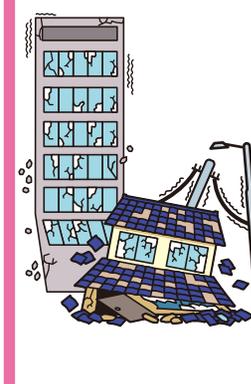
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

【震度 6 強】



- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

【震度 7】



- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

資料：福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書（平成 24 年 3 月発行）